

73. グラフの説明に使う表現

▶ 入試問題でグラフ（折れ線グラフや棒グラフなど）の内容を英語で説明することを求められることがある。出題頻度はそれほど多くないが、数量表現は学生が最も苦手とすることの一つなので、以下のような書き方を知っているかどうかでも答案の出来が全然違ってくる。一度は目を通しておくことが望ましい。

● 【増減の表し方】

グラフの増減は、以下の動詞と副詞を組み合わせる表現するとよい。

	動詞	副詞
上昇	increase rise (-rose-risen) go up	slightly (わずかに) steadily (着実に) sharply (急激に)
下降	decrease fall (-fell-fallen) drop go down	rapidly (急速に) slowly (ゆっくりと) gradually (徐々に)

ポイント ① 三単現のSの抜け、および動詞の時制に注意すること。

② 上にあげた動詞に、以下のような語句を添えて、さらに表現を深めることができる。

- 「...し続ける」：上がり続ける → continue to rise; keep rising
- 「...し始める」：2000年に再び上昇し始める → start to rise again in 2000
- 「...から～まで」：1985年の700万人から1990年の400万人にまで急減する → fall sharply from seven million in 1985 to four million

in 1990

- 「...に最も～」：失業率は1990年に最も低 [高] かった
→ Unemployment was at its lowest [highest] in 1990.

● 【基本名詞】

- 表 → table
- 数字 → figure(s)
- 量 → amount
- 割合、率 → percentage
- 理由 → reason
- 要因 → factor
- 上の [下の] グラフ → the graph above [below]

● 【線】

- 曲線 → a curved line; curve
- 点線 → a dotted line
- 実線 → a solid [real] line
- 直線 → a straight line
- 波線 → a wavy line

● 【グラフ】

- グラフ → graph
- 棒グラフ → a bar
- 円グラフ → a pie graph
- 折れ線グラフ → a line graph
- 帯グラフ → a column graph

● 【その他】

- ほぼ同じままである → remain almost the same
- ...以上 → more than ... (★ more than ...は厳密には"...自身を含まない")
- 年々 → year by year (★ year by yearは「年を追うごとに、一年一年と」という徐々に変化している様子を表す。year after yearは「来る年も来る年も」という意味で、しばしば不快な状況が単調に繰り返される様子を表す)
- 一人あたり → per person
- AとBとの(密接な)関連 → a (close) connection between A and B
- ここ20年にわたって → over the past twenty years
- ...の方法の変化 → the change in the way S+V